

男性と子どもの家事力アップ応援事業【白河市】

個別事業費	948 千円
交付金額	462 千円

地域の実情と課題

令和2年の国勢調査では、本市の女性の就業率は51.8%であり、5年前の調査と比較して3.7%増加している。女性の社会進出や子育て世帯の共働きの割合は、より一層増加するものと想定され、家庭を持ちながら働く女性にとって「家族の協力」は必要不可欠であり、家庭内での固定的な性別役割分担意識の改革が課題となっている。

事業の特徴

女性に偏りがちな「料理」に焦点をあて、本市にゆかりのある男性料理家を講師に招き、「男性」や「親子(父子または祖父孫)」を対象とした料理教室と小学校での出前講座を実施した。講師から料理の基礎などについて、直接指導を受けられるほか、参加者同士が「料理」を通じて交流し、家庭内での家事に対する意識を考える機会を提供した。

事業の効果

「男性」を対象とした料理教室では、定員の2倍となる申込みがあり、関心の高さがうかがえた。また、料理教室後のアンケート調査では、普段の生活について振り返り「普段からもう少し妻に協力したい」「家庭内でも実践したい」という声が寄せられ、家事分担に対する意識の変化がみられた。

目的・目標

男性の家事参加への理解度について、目標値を70%として設定した。事業終了後のアンケート調査の結果、「家庭でも料理に挑戦したい」と回答した割合は75%であり、この結果は、事業目標である「家事分担の必要性について理解し、参加する意識の醸成」の目標値70%を超える75%を達成することにつながるものとなった。

連携団体

白河市男女共同参画推進懇話会
(構成団体)
・西白河地区小中学校長連絡協議会白河班
・白河市民生児童委員連絡協議会
・白河厚生総合病院 ・白河地区経営者協会
・白河商工会議所 ・NPO法人しらかわ市民活動支援会
・白河市婦人団体連絡協議会 ・JA夢みなみしらかわ女性部

今後の課題

暮らしの中の潜在的な性別役割分担意識の改革には、世代間の格差や家庭環境等の違いなどから効果的な施策に苦慮している。今回実施した事業が単なる「料理教室」とならないよう検証を行い、今後どのような事業をするべきか検討するとともに、引き続き関係機関との連携により「気付き」を与える事業を展開し、意識改革の醸成に努めたい。

男性の料理教室



親子料理教室



小学校『出前講座』

